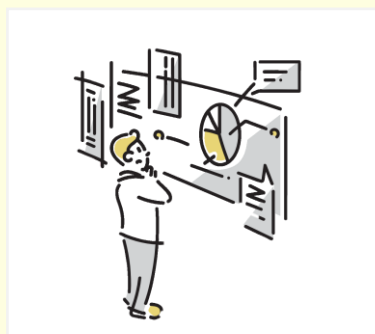


柿木図書館及び周辺施設の更新等に関するオープンハウス

老朽化が進んでいる柿木図書館及び周辺施設をどのように更新していくかについて、地域の皆さんとワークショップを開催し、3つのたたき台を作成しました。

たたき台について、ご意見をお聴かせください。



パネル資料等をご覧ください



アンケートにご回答ください
回答期限▶5月31日(日)



検討の流れ

① ワークショップの開催

ワークショップを開催し、複数の更新方法(たたき台)を作成しました。

③ 更新方法(案)に対する意見聴取

たたき台に対するご意見等を踏まえて、更新方法(案)を作成した上で、改めてご意見を伺います。

② たたき台に関する意見聴取

オープンハウス等を開催し、たたき台に対するご意見を伺います。

④ 更新方法の決定

更新方法(案)に対するご意見等を踏まえて、更新方法を決定します。

R7(2025).8~R8(2026).3

R8(2026).5

R8(2026).8頃~

R9(2027).1

柿木図書館（上井草1-6-13）

■ 基本情報

築年数：61年、敷地面積：1,658㎡、延床面積：1,162㎡

- ・エレベーターや幼児用/バリアフリートイレ、授乳室が設置されていないほか、児童コーナーやヤングアダルトコーナー等が不足しているなどの課題があります。



■ ワークショップでの主なご意見



残したい良さ

- ・緑に囲まれた中で、くつろいで読書や勉強ができる。
- ・「柿木」という地名に由来する図書館であるため、移転せずにこのままの場所が望ましい。
- ・敷地内に柿の木やメタセコイヤなど特色ある樹木が植えられている。



改善したい点

- ・読書のできるスペースが少ない。
- ・テレワークやグループワーク、勉強のできるスペースが欲しい。
- ・1階に0～1歳児向けのコーナーがあると、子育て世帯の居場所として、より良い施設になると思う。

四宮保育園（上井草2-28-3 1階） ※ゆうゆう四宮館と併設

■ 基本情報

築年数：60年、敷地面積：1,388㎡(ゆうゆう館含む)

延床面積：355㎡、園庭面積：563㎡

- ・現在の基準に合わせて、バリアフリートイレ等を設置する必要があるため、改築により延床面積が増加します。
- ・休園ができない施設であることから、改築工事中の仮設園舎を整備する必要があります。



■ ワークショップでの主なご意見



残したい良さ

- ・広い園庭で存分に遊べる。
- ・ワンフロアなので全体に目が届き、安全性が高い。



改善したい点

- ・遊戯室などの広いスペースがない。
- ・自転車登園の人が多いが、駐輪スペースが少ないように思える。

ゆうゆう四宮館（上井草2-28-3 2階） ※四宮保育園と併設

■ 基本情報

築年数：60年、敷地面積：1,388㎡(保育園含む)、
延床面積：202㎡

- ・主に60歳以上の区民が、憩い・いきがい学
び・ふれあい交流・健康づくりの場として利
用できる施設です。



■ ワークショップ参加者やゆうゆう館利用者の主なご意見



残したい良さ

- ・ゆうゆう四宮館は、雰囲気良く、家庭
的な環境なので、気軽に入りやすい。
- ・自分にとっては、家から近いところ。
- ・催し物（協働事業等）があることによっ
て、地域の方々と親しめる。
- ・催し物（協働事業等）に魅力的なもの
が多い。



改善したい点

- ・エレベーターの設置などバリアフリー
化してほしい。
- ・年代を問わず使えるような施設になれ
ば良いと思う。
- ・若い世代も利用しやすい施設にしてほ
しい。
- ・利用する人が固定化されてしまってい
る。
- ・10年、15年利用している人は楽しく集
まりやすいが、新規で来館する人が入り
にくいという話があった。

四宮区民集会所（上井草2-28-13）

■ 基本情報

築年数：42年、敷地面積：615㎡、延床面積：299㎡

- ・他の施設と比較して築年数は浅いですが、四宮保育園・ゆ
うゆう四宮館と隣接しており、土地の有効活用の観点から
対象としています。
- ・地域区民センター協議会が、地域のお祭りや講座等を実施
しています。



■ ワークショップでの主なご意見



残したい良さ

- ・いつでも自由に使える談話コーナーがあ
る。
- ・春祭りや餅つきは地域に根付いている。
- ・子どもたちが一緒に遊ぶ際に集まりやす
い場所となっている。



改善したい点

- ・談話コーナーを拡充してほしい。高校生
やワークスペースとして使う人が増える
ように、机や電源を設置すると良いので
はないか。
- ・広い部屋がないので、大人数で集まるこ
とができない。
- ・出入口が分かりづらいため、施設の様子
が分かりにくい、利用しにくい。

ワークショップでは、参加者との意見交換を通じて、

施設の更新に関する**3つの“たたき台”**のほか、“**取組への期待**”及び

“**視点**”を作成した上で、“**たたき台**”の**比較**を行いました。

■ワークショップを通じて作成した資料

“たたき台”



参加者との意見交換を通じて、施設の更新に関する3つの“たたき台”を作成しました。

P5~9

“取組への期待”及び“視点”

取組への期待	(1) 様々な用途で利用でき、地域の人々が集い、交流が生まれる
視点	・集い、交流できるスペースが確保されているか ・現在の地域活動が継続し、発展させていくための場所が確保されているか
取組への期待	(2) 気軽に立ち寄れ、落ち着いて過ごせる
視点	・集会所等について、周囲から目につく建物になっていて、気軽に立ち寄れるか ・一人や少人数でも気軽な利用でき、落ち着いて過ごせるか
取組への期待	(3) 安全・安心の確保
視点	・高齢者や障害者などが安全に利用できるか ・誰もが安心して利用できる環境となっているか
取組への期待	(4) 子どもがのびのびと育つ
視点	・保育園や図書館などが安全に利用できるか ・子どもや乳幼児親子が気軽な利用できるか ・子どもが他の世代と交流する機会を確保できるか ・子どもの学びの機会や、興味を伸ばせる環境を確保できるか
取組への期待	(5) 高齢者の活動場所の確保
視点	・高齢者のこれまでの活動を継続できるか ・高齢者にとって通がみやすい場所となるか ・敷居が低く使いやすい場所となっているか
取組への期待	(6) 地域のシンボル性や歴史の継承、周辺環境との調和
視点	・地域の歴史や、地域のシンボル性や歴史を継承することができるか ・近隣施設との連携やファンが集まるか ・図書館等にありながら、地域を活性化できるか ・周辺環境との調和を大切にしているか
取組への期待	(7) 土地・建物の有効活用
視点	・土地や建物が有効活用されているか ・整備コストを抑えられているか ・改築に伴う休廃業が早く戻されているか

参加者等のご意見を“取組への期待”として整理した上で、“取組への期待”ごとに、たたき台を比較するための“視点”を作成しました。

P10

“たたき台”の比較

取組への期待	(1) 様々な用途で利用でき、地域の人々が集い、交流が生まれる		
視点	たたき台1	たたき台2	たたき台3
様々な使い方ができるスペースや、集い交流できるスペースが確保されているか	○	○	○
現在の地域活動を継続し、発展させていくための場所が確保されているか	○	○	○

“取組への期待”及び“視点”に沿って、“たたき台”の比較を行いました。

P11~17

■ワークショップのプログラム

ワークショップの資料は
こちらからご覧いただけます



第1回
(令和7年8月31日)

対象施設を知ろう！

- ・対象施設を見学し、対象施設の残したい良さや改善したい点などを各グループで共有しましょう

第2回
(令和7年11月1日)

課題解決に向けた方策を考えよう！

- ・グループごとに対象施設の良かった点や課題を整理し、課題解決に向けてどのような方策が考えられるのか、アイデアを出し合ひましょう

第3回
(令和8年1月24日)

更新方法（たたき台）について検討しよう！

- ・区が作成した複数の更新方法（たたき台）について、良い点や気になった点などをグループごとに話し合ひましょう

第4回
(令和8年3月28日)

検討を深め、更新方法（たたき台）を比較してみよう！

- ・それぞれの更新方法（たたき台）について検討を深め、メリットやデメリットを比較しましょう



たたき台

1

区民集会所は改築せず、保育園・ゆうゆう館、
図書館を現地改築する案

■ 更新後の施設配置



■ たたき台の主なポイント

- 施設の配置が現状と変わらず、利用者や近隣住民への影響が小さい。
 - 高齢者が中心に利用する施設としてゆうゆう館を存置できる。
 - 区民集会所の休館期間が生じない。
 - 区民集会所を改築しないため、当面の改築費用を抑えることができる。
 - 図書館の休館期間を3年程度に抑えることができる。
 - ▲敷地①・②を一体的に活用できず、土地の有効活用を図りにくい。
 - ▲ゆうゆう館を存置すると高齢者の利用が中心となり、夜間の稼働率が低いなど、施設の有効活用が図られにくい。
 - ▲保育園の延床面積は現在の基準に合わせて増加するため、園庭面積が現状よりも小さくなる。
 - ▲保育園の仮設園舎を建設する用地や費用が必要になる。
- = メリット ▲ = 留意点等

■ 参考にした主なご意見

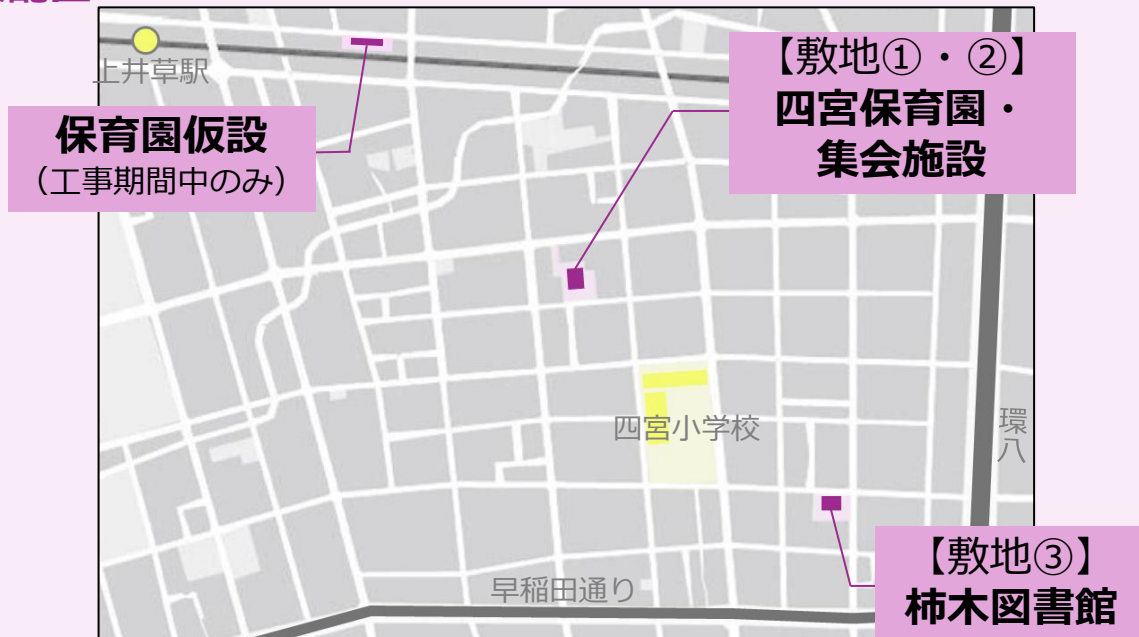
- 各施設の立地が良い環境にあるので、現在の場所で施設を更新してほしい。
- 全ての施設を現在の場所で更新することが、「地域のシンボル性や歴史の継承」の観点から大きな意味がある。
- 現在のゆうゆう四宮館の雰囲気は家庭的で、温かみがあることが魅力であり、今のまま改築してほしい。
- ゆうゆう四宮館は、高齢者にとって憩いの場であり、楽しい時間を過ごせる場所である。
- 休館期間中における代替の活動場所を考えておく必要がある。特に高齢者は環境が変わるなどして、一度活動が途切れると、その後続けることが難しくなる。

たたき台

2

保育園と集会施設を合築し、
図書館を現地改築する案

■ 更新後の施設配置



■ たたき台の主なポイント

- 施設の配置が現状と大きく変わらず、利用者や近隣住民への影響が小さい。
- 敷地①・②を一体的に活用することで、土地の有効活用を図れる。
- 集会施設は、①ゆうゆう館と区民集会所又は②コミュニティふらっとを整備する案が考えられるが、仮にコミュニティふらっとを整備する場合、トイレなどを集約することで、現在の区民集会所よりもラウンジ等を広く確保できる。
- 新しい集会施設(区民集会所又はコミュニティふらっと)を整備することで、ダンスなどの軽運動等が可能な多目的室を設けることができる。
- 図書館の休館期間を3年程度に抑えることができる。
- ▲ゆうゆう館と区民集会所の改築工事期間中(3年程度)は、周辺の施設を利用する必要がある。
- ▲保育園の延床面積は現在の基準に合わせて増加するため、園庭面積が現状よりも小さくなる。
- ▲保育園の仮設園舎を建設する用地や費用が必要になる。

○ = メリット ▲ = 留意点等

■ 参考にした主なご意見

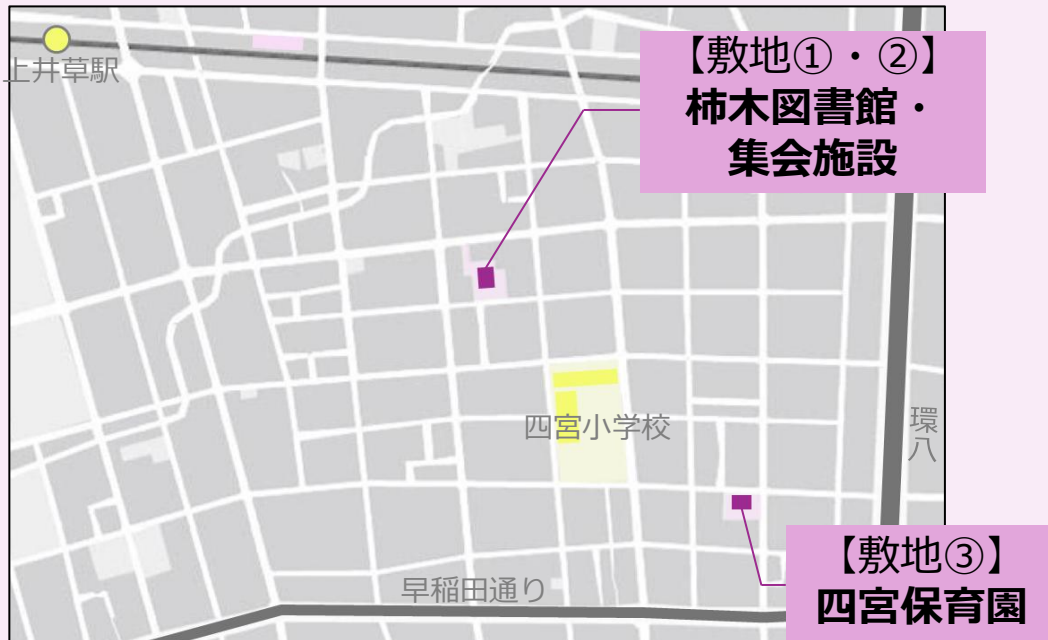
- 各施設の立地が良い環境にあるので、現在の場所で施設を更新してほしい。
- ゆうゆう四宮館と四宮区民集会所を集約することで、敷地を有効活用でき、広いフリースペースを設けることができるのではないかと。
- ゆうゆう四宮館と四宮区民集会所を集約する場合、建物内でエリアを分けつつ、入口やラウンジなどを共有することで、世代毎に集まることの安心感と世代を超えた交流を両立できるようになるのではないかと。
- ゆうゆう四宮館と四宮区民集会所は、良く利用されている時間帯が異なるため、両施設を複合化することで、施設の有効活用が図られるのではないかと。

たたき台

3

保育園と図書館の配置を入れ替え、 図書館と集会施設を合築する案

■ 更新後の施設配置



■ たたき台の主なポイント

- 敷地①・②を一体的に活用することで、土地の有効活用を図れる。
- 集会施設は、①ゆうゆう館と区民集会所又は②コミュニティふらっとを整備する案が考えられるが、仮にコミュニティふらっとを整備する場合、トイレなどを集約することで、現在の区民集会所よりもラウンジ等を広く確保できる。
- 新しい集会施設(区民集会所又はコミュニティふらっと)を整備することで、ダンスなどの軽運動等が可能な多目的室を設けることができる。
- 敷地③では、面積が狭いため、開架部分(本棚等)の面積を維持したまま図書館と集会施設を合築することはできないが、敷地①・②では、図書館の開架部分の面積を現地改築の場合と同程度確保しながら、集会施設と合築(2階建てを想定)できる。
- 保育園の延床面積が現在の基準に合わせて増加するものの、園庭面積を現状程度確保できる。
- 保育園の仮設園舎を建設する用地や費用が不要である。
- ▲保育園と図書館の場所が変わるため、利用者や近隣住民への影響が大きい。
- ▲ゆうゆう館と区民集会所の改築工事期間中(3年程度)は、周辺の施設を利用する必要がある。
- ▲図書館の休館期間が6年程度と長く、利用者への影響が大きい。

○=メリット ▲=留意点等

■ 参考にした主なご意見

- 図書館に会議ができたり、おしゃべりができる場所があると良いので、図書館と集会施設を一体化してはどうか。
- 図書館に多目的室を設けて、地域の人が交流できる空間があると良い。
- 保育園には、ホールや園庭などのスペースを十分に確保できると良い。
- ゆうゆう四宮館と四宮区民集会所を集約することで、敷地を有効活用でき、広いフリースペースを設けることができるのではないかと。
- 保育園は、単独で大きく建てた方が安全面やセキュリティの観点から良いと思う。

現時点で想定している更新スケジュール（予定）

	現在の建物等	更新後の建物等	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
たたき台 1	柿木図書館	図書館	設計	解体	建築		開設				
	四宮保育園 ゆうゆう四宮館	保育園 ゆうゆう館				設計	解体	建築	開設		
								ゆうゆう館 休館 3年			
四宮区民集会所	-	(改築せず)									
遊び場116番	保育園仮設園舎			設計・建築	仮設園舎利用		解体				

たたき台 2	柿木図書館	図書館	設計	解体	建築		開設				
	四宮保育園 ゆうゆう四宮館 四宮区民集会所	保育園 集会施設				設計	解体	建築	開設		
							ゆうゆう館 休館 3年				
遊び場116番	保育園仮設園舎			設計・建築	仮設園舎利用		解体				

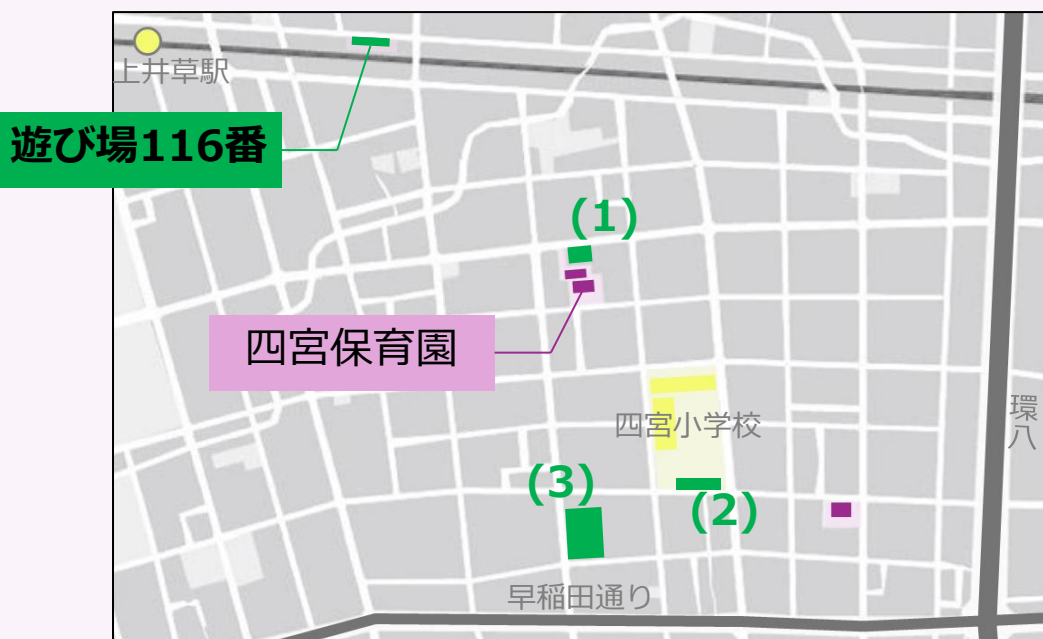
たたき台 3	柿木図書館	保育園	設計	解体	建築		開設				
	四宮保育園 ゆうゆう四宮館 四宮区民集会所	図書館 集会施設				設計	解体	建築	開設		
							ゆうゆう館・区民集 休館 3年				
			図書館 休館 6年								

四宮保育園の仮設園舎用地に関する検討

- 保育園は、保護者の就労等により保育が必要な児童のための施設であり、休園ができません。現時点で想定している仮設園舎用地は以下のとおりです。

遊び場116番（井草5-2）の一部を活用する案

- ・遊び場116番は、西武新宿線連続立体交差事業の一環で区が土地を取得し、暫定的に遊び場として整備しています。
- ・事業に支障がない範囲（鉄道や側道に使用しない部分）で仮設園舎を整備できないか検討中です。
- ・四宮保育園からの距離は約500mとなります。



■ これまでに検討した他の用地(一例)

(1) 四宮区民集会所の北側敷地(梅林)

民有地であり、活用が困難であることを確認

(2) 四宮小学校の南側敷地

教育活動への影響や、樹木の伐採が必要であることを踏まえると活用は困難

(3) 上井草二丁目の団体利用農園

農地としての利用を前提に区が借りているため、他用途への転用は困難

■ ワークショップでの主な質問とその回答

- Q** ○線路からの距離が近いので、電車の音や振動が大きく、子どものお昼寝に支障が出るのではないのか。
- 線路の南側に住んでいる利用者は、朝の時間帯に開きづらい踏切を渡るようになるが、どう考えているのか。
- 園庭がなくても大丈夫なのか。

- A** ○仮設園舎の建設に当たっては、防音性能を高めるなどの対策を行い、子どものお昼寝に支障が出ないように十分配慮していきます。
- なお、区内の保育園の中には、線路沿いに立地しているところもありますが、電車の音や振動によってお昼寝などに特段の支障が出ているといったことはありません。
- 新規の入園希望者に対しては、事前に仮設園舎の利用期間や場所を入園のお知らせ等でお知らせしますので、入園希望者がそれぞれご家庭の事情に応じて適切に保育園を選べるようにしていきます。
- なお、在園している園児に影響が生じないよう、仮設園舎への移転は在園児が卒園した後の令和13年度以降を予定しています。
- 仮設園舎は、遊び場116番の敷地の一部に建設するため、仮設園舎で使用しない残りの敷地については、引き続き遊び場として活用していきます。
- また、仮設園舎から徒歩約4分の四宮森公園など近隣の公園も利用することで、適切な保育環境を確保していく考えです。

他の用地を活用できないかについても引き続き検討していきます。

たたき台2・3の集会施設について

○たたき台2・3で整備する集会施設は、現在の保育園・ゆうゆう館と区民集会所の敷地を一体的に活用し、
①ゆうゆう館と区民集会所又は②コミュニティふらっととする案が考えられます

■各施設の主な特長

	ゆうゆう館	区民集会所	コミュニティふらっと
概要	交流及び活動の場として主に60歳以上の区民が利用できる施設	区民相互の交流及び活動の場として全ての世代が利用できる施設	多世代交流及び活動の場として全ての世代が利用できる施設
貸室	趣味の活動ができる貸室を設置 (ゆうゆう四宮館の場合：2部屋(洋室2))	会議や趣味の活動ができる貸室を設置 (四宮区民集会所の場合：3部屋(洋室2、和室1))	会議や趣味の活動のほか、ダンスなどの軽運動等ができる貸室を設置 (標準的なコミュニティふらっとの場合：5～6部屋)
貸室の利用料金	高齢者団体は無料 高齢者団体が利用していない場合に、高齢者団体以外が利用するときは有料	有料	有料 高齢者団体が他の団体に先行予約して利用する場合は利用料免除
各施設で実施する主なイベント	コーラスや英会話教室などの主に高齢者向けのイベントを運営事業者が実施	春まつりなどのイベントを地域区民センター協議会が実施	ヨガ教室や防災カフェなどのイベントを運営事業者が実施 春まつりなどのイベントを地域区民センター協議会が実施することも可
予約なしで利用できるスペースのイメージ	利用者登録を行うことで一般和室を利用可  ゆうゆう四宮館の一般和室	談話コーナーは、利用者登録が不要で、貸室の利用者以外でも利用可  四宮区民集会所の談話コーナー	ラウンジは、利用者登録が不要で、貸室の利用者以外でも利用できるほか、一人でも利用しやすいようにカウンター席を設置 たたき台2・3でコミュニティふらっとを整備する場合、ゆうゆう館と区民集会所を整備する場合と比べて、トイレなどの共用部を集約することで、予約なしで利用できるスペースや集会室を広く確保することが可能  コミュニティふらっと成田のラウンジ

ワークショップ参加者等のご意見を“取組への期待”として整理した上で、“取組への期待”ごとに、たたき台を比較するための“視点”を作成しました。

■ 主なご意見

- 多世代がフレキシブルに利用できるように、区民集会所とゆうゆう館を一体的に整備するなど利用者の年代の幅を拡大する必要がある。
- 四宮区民集会所の建物が奥まっているため、何を行っている施設か分からず入りにくい。
- ゆうゆう四宮館は、バリアフリー化ができておらず、高齢者や車いすの方にとって不便である。雨の日はスロープが滑りやすいなどの危険もある。
- 四宮保育園は園庭が広く、多様な遊び方ができる。
- ゆうゆう館は、高齢者にとって憩いの場であり、楽しい時間を過ごせる場所である。
- 四宮区民集会所の春祭りや餅つきは地域に根付いている。地域の特長的なイベントを残してほしい。
- 区民集会所とゆうゆう館を同じ建物内に併設し、共有のフリースペースを設けることで広いスペースの確保ができる。双方の利用時間帯も異なると思うので、スペースの有効活用も可能になる。

取組への期待	(1) 様々な用途で利用できるほか、地域の人々が集まり、交流が生まれる
視点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な使い方ができるスペースや地域の人々が集まり交流できるスペースが確保されているか ・ 現在の地域活動を継続し、発展させていくための場所が確保されているか
取組への期待	(2) 気軽に立ち寄れ、落ち着いて過ごせる
視点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集会施設について、周囲から目につく建物になっていて、気軽に立ち寄れるか ・ 一人や少人数でも気兼ねなく利用でき、落ち着いて過ごせるか
取組への期待	(3) 安全・安心の確保
視点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者や障害者などが安全に利用できるか ・ 誰もが安心して過ごせる施設となっているか
取組への期待	(4) 子どもがのびのびと育つ
視点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園の園庭を十分に確保できるか ・ 子どもや乳幼児親子が気兼ねなく利用できるか ・ 子どもたちが他の世代と交流する機会を確保できるか ・ 子どもの学ぶ機会や本に触れる機会を確保できるか
取組への期待	(5) 高齢者の活動場所の確保
視点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者団体のこれまでの活動を継続できるか ・ 高齢者にとって温かみを感じられるとともに、敷居が低く使いやすい場所となっているか
取組への期待	(6) 地域のシンボル性や歴史の継承、周辺環境との調和
視点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の祭りなど、地域のシンボル性や歴史を継承することができるか ・ 近隣施設との配置バランスが取れているか ・ 図書館敷地にある樹木を維持できるか ・ 周辺環境への影響を抑えられているか
取組への期待	(7) 土地・建物の有効活用
視点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土地や建物が有効活用されているか ・ 整備コストを抑えられているか ・ 改築に伴う休館期間が短く抑えられているか

“取組への期待”及び“視点”に沿って、“たたき台”の比較を行いました。

取組への期待
(1)

様々な用途で利用できるほか、地域の人々が集まり、交流が生まれる



視点	たたき台1	たたき台2	たたき台3
様々な使い方ができるスペースや地域の人々が集まり交流できるスペースが確保されているか	○	◎	◎
	区民集会所を改築しないため、区民集会所の間取りを大幅に変更することや新たなスペースを確保することは難しい。	集会施設を改築することで、ダンスなどの軽い運動や音の出る活動など、様々な使い方ができる多目的室を新たに設置できるとともに、地域の人々が交流できるラウンジなどのスペースをこれまで以上に確保できる。	図書館と集会施設を合築することで、イベントの幅が広がるなど、新たな交流を生むことができる。
	図書館を改築することで、図書の閲覧や調べものなど、様々な使い方ができるスペースを確保できる。		
現在の地域活動を継続し、発展させていくための場所が確保されているか	集会施設を引き続き整備することで、地域活動を継続し、発展させる場を維持できる。		

◎：現状より向上するもの ○：現状維持のもの又は現状より低下するものと向上するものを両方含むもの □：全てのたたき台に共通するもの

■ 上記比較に対する主なご意見

- たたき台1で区民集会所を改築しなかったとしても、運営の工夫により、様々な使い方ができるスペースや地域の人々が集まり交流できるスペースを確保することはできると思う。
- たたき台2・3では、地域住民が交流できるスペースがこれまで以上に確保できる点が良い。
- たたき台3では、図書館と集会施設を合築するため、シナジー(相乗)効果があることや、図書館が駅に近くなり利用しやすくなるため、◎より更に高い評価になるのではないかと。

取組への期待
(2)

気軽に立ち寄れ、落ち着いて過ごせる



視点	たたき台1	たたき台2	たたき台3
集会施設について、周囲から目につく建物になっていて、気軽に立ち寄れるか	○	◎	◎
一人や少人数でも気兼ねなく利用でき、落ち着いて過ごせる	○	◎	○
	区民集会所を改築しないため、区民集会所の間取りを大幅に変更することや新たなスペースを確保することは難しい。	集会施設を改築することで、一人や少人数でも気兼ねなく利用でき、落ち着いて過ごせるカウンターなどを備えたラウンジを新たに確保することができる。	図書館と集会施設を合築するため、集会施設のイベント開催時には、落ち着いて読書や調べものをするのが難しい場合もある。
	図書館を単独で改築するため、集会施設と合築するたたき台3と比べて、落ち着いて読書や調べものができるスペースを確保しやすい。		

◎：現状より向上するもの ○：現状維持のもの又は現状より低下するものと向上するものを両方含むもの □：全てのたたき台に共通するもの

■ 上記比較に対する主なご意見

- 今の柿木図書館は道路に面した角地に位置しているが、たたき台3では道路から奥まった場所になってしまい、利便性が下がってしまうと思う。
- たたき台3における図書館と集会施設の合築について、施設内のゾーニングを工夫することで音の懸念は解消できるのではないかと。

取組への期待
(3)

安全・安心の確保



視点	たたき台1	たたき台2	たたき台3
高齢者や障害者などが安全に利用できるか	施設の改築によって、高齢者や障害者などが安全に利用できるようにバリアフリー化を図れる。		
誰もが安心して過ごせる施設となっているか	施設の改築によって、敷地や施設内の見通しを良くし、誰もが安心して過ごせる施設にすることができる。		

■ 上記比較に対する主なご意見

○現在の柿木図書館の東側にある道路は交通量が多く、たたき台3で保育園を移転した場合、子どもの送迎の際に危険が生じないか懸念がある。

取組への期待
(4)

子どもがのびのびと育つ



視点	たたき台1	たたき台2	たたき台3
保育園の園庭を十分に確保できるか	保育園の園庭面積は、認可基準(204.6㎡)以上を確保できるものの、現状(563㎡)よりも小さくなる(400㎡弱を想定)。		保育園の園庭面積を現状程度確保できる。
子どもや乳幼児親子が気兼ねなく利用できるか	○ 区民集会所を改築しないため、授乳室など乳幼児親子のためのスペースを新たに整備することは難しい。	◎ 集会施設を改築することで、授乳室など乳幼児親子のためのスペースを新たに整備できる。	◎
	図書館を改築することでバリアフリートイレや幼児用トイレ、授乳室、乳幼児コーナーなど乳幼児親子のためのスペースを新たに整備できる。		
子どもたちが他の世代と交流する機会を確保できるか	○ 保育園とゆうゆう館を合築することで、現在ゆうゆう館で行われている保育園児と高齢者の交流イベントを継続しやすい。	◎ 保育園と集会施設を合築することで、現在ゆうゆう館で行われている保育園児と高齢者の交流イベントを継続しやすい。 集会施設として仮にコミュニティふらっとを整備した場合、多世代向けのイベントなどを通じて、子どもたちが他の世代と交流しやすくなる。	○ 保育園を単独で整備するため、現在ゆうゆう館で行われている保育園児と高齢者の交流イベントを継続しにくくなる。
子どもの学ぶ機会や本に触れる機会を確保できるか	○ 区民集会所を改築しないため、小中学生の学習スペースを充実させることなどは難しい。	◎ 集会施設を改築することで、小中学生の学習スペースを充実させることができる。	◎
	図書館を改築することで、小中学生の学習スペースや児童コーナーを充実させることができる。		

◎：現状より向上するもの ○：現状維持のもの又は現状より低下するものと向上するものを両方含むもの □：全てのたたき台に共通するもの

■ 上記比較に対する主なご意見

○たたき台1・2では、保育園の園庭面積が現状よりも小さくなるが、認可基準の約2倍の面積を確保できるのであれば十分だと思う。

○保育園と高齢者の交流は、ゆうゆう館に限らず、老人ホームなど近隣の施設にも広げるべきだと思う。

取組への期待
(5)

高齢者の活動場所の確保



視点	たたき台1	たたき台2	たたき台3
高齢者団体のこれまでの活動を継続できるか	○	○	○
	ゆうゆう館が継続するため、高齢者団体はこれまでと同様に活動できる。	集会施設として仮にコミュニティふらっとを整備する場合であっても、高齢者団体の優先利用枠を確保することで、これまでの高齢者団体の活動を継続することができる。	
高齢者にとって温かみを感じられるとともに、敷居が低く使いやすい場所となっているか	○	○	○
	利用者と受付職員の距離が近く、温かみを感じやすいゆうゆう館が継続する。	集会施設として仮にコミュニティふらっとを整備する場合であっても、ゆうゆう館と同様に受付事業者がイベントなどの事業を行うことで、利用者と受付職員の距離が近くなり、高齢者にとって温かみを感じられるとともに、敷居が低く使いやすい場所にすることができる。	

◎：現状より向上するもの ○：現状維持のもの又は現状より低下するものと向上するものを両方含むもの □：全てのたたき台に共通するもの

■ 上記比較に対する主なご意見

- たたき台1・2は、ゆうゆう館又はコミュニティふらっとが保育園と併設することで、保育園児との交流ができ、高齢者にとって安らぎの場となるため、評価は○ではなく◎だと思う。
- ゆうゆう館を整備する場合とコミュニティふらっとを整備する場合で、評価は異なるのではないかと。

取組への期待
(6)

地域のシンボル性や歴史の継承、 周辺環境との調和



視点	たたき台1	たたき台2	たたき台3
地域のお祭りなど、地域のシンボル性や歴史を継承することができるか	地域区民センター協議会などが区民集会所等で実施してきたお祭りなどのイベントは、いずれのたたき台でも継続できる。		
近隣施設との配置バランスが取れているか	○	○	○
	保育園と図書館の場所は、現在と変わらない。 なお、区立保育園は、近隣の私立保育園を支援する役割を担っており、井草地域を担当するのが四宮保育園である。 また、図書館は、区内7地域に各2館ずつ配置することとしており、井草地域は柿木図書館と下井草図書館が該当する。		保育園と図書館の場所が変わるが、同じ井草地域内であり、配置のバランスは維持できる。
	集会施設の場所は、いずれのたたき台でも現在のゆうゆう館及び四宮区民集会所と変わらない。		
図書館敷地にある樹木を維持できるか	影響（大）	影響（大）	影響（小）
	図書館の規模が現状よりも大きくなることから、現在の図書館敷地にある樹木を一定程度伐採する必要がある。		現在の図書館敷地に図書館よりも規模の小さい保育園を整備するため、たたき台1・2と比べて伐採する樹木の範囲は小さくなる可能性がある。
周辺環境への影響を抑えられているか	影響（小）	影響（小）	影響（大）
	施設の配置が現状と変わらず、周辺環境に及ぼす影響が小さい。		保育園と図書館の場所が変わるため、周辺環境に及ぼす影響がたたき台1・2と比べて大きい。

◎：現状より向上するもの ○：現状維持のもの又は現状より低下するものと向上するものを両方含むもの □：全てのたたき台に共通するもの

■ 上記比較に対する主なご意見

- 「地域のお祭りなどを継承できるのか」という視点について、たたき台1は現状と大きく変わらないが、たたき台2・3では新たな集会施設を整備することでイベントの可能性が広がり、イベント規模を大きくできるなどのメリットも期待できる。
- 図書館とその敷地内にある樹木は一体的に捉えるべきだと思う。図書館が移転して樹木だけ残ってもシンボル性は継承できないと思う。

取組への期待
(7)

土地・建物の有効活用



視点	たたき台 1	たたき台 2	たたき台 3
土地や建物が有効活用されているか	○ 現在の保育園・ゆうゆう館と区民集会所の敷地を一体的に活用できず、土地の有効活用を図りにくい。 ゆうゆう館を存置するため、高齢者の利用が中心となり、夜間の稼働率が低いなど、建物の有効活用が図られにくい。	◎ 現在の保育園・ゆうゆう館と区民集会所の敷地を一体的に活用することで、土地の有効活用を図れる。集会施設として仮にゆうゆう館ではなくコミュニティふらっとを整備した場合、多世代が利用できるようになることで建物の有効活用を図れる。	◎ 図書館と集会施設を合築するため、両施設で多目的室やラウンジ、トイレなどを共有できるなど、建物の有効活用を図れる。
整備コストを抑えられているか	コスト (中) 区民集会所を改築しないため、当面の改築費用を抑えることができる。一方で、保育園の仮設園舎を建設する費用が必要となる。	コスト (大) 区民集会所を含めて全ての対象施設を改築するとともに、保育園の仮設園舎を建設するため、整備コストはたたき台の中で一番大きくなる。	コスト (小) 区民集会所を含めて全ての対象施設を改築するが、保育園の仮設園舎を建設しないため、整備コストは3つのたたき台の中で一番小さくなる。
改築に伴う休館期間が短く抑えられているか	影響 (小) 【休館期間】 保育園：なし 図書館：3年程度 ゆうゆう館：3年程度 区民集会所：なし (改築せず)	影響 (中) 【休館期間】 保育園：なし 図書館：3年程度 ゆうゆう館：3年程度 区民集会所：3年程度	影響 (大) 【休館期間】 保育園：なし 図書館：6年程度 ゆうゆう館：3年程度 区民集会所：3年程度

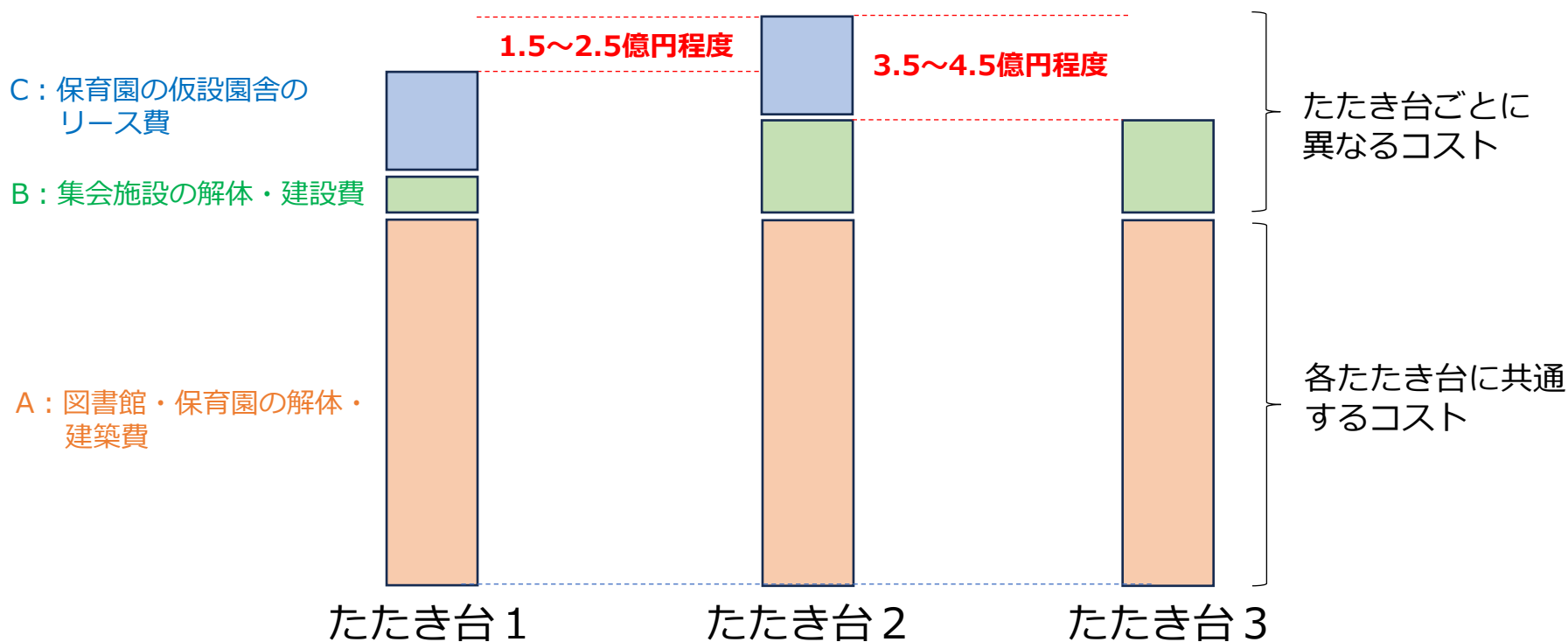
◎：現状より向上するもの ○：現状維持のもの又は現状より低下するものと向上するものを両方含むもの □：全てのたたき台に共通するもの

■ 上記比較に対する主なご意見

- 区民集会所を20年後に改築することになるのなら、存置せず、周辺施設と一緒に更新した方が良い。
- たたき台1は、当面の整備コストが(中)となっているが、いずれ区民集会所を改築する必要があるため、長期的に考えると(大)になるのではないかと懸念。
- 物価が年々上昇していることから、整備コストは特に重視すべき点だと考える。
- たたき台3における図書館の休館期間(6年)は、土地を無駄遣いしているのではないのだから、マイナス要因ではないと思う。

整備コスト等の比較（想定イメージ）

- たたき台1は、区民集会所を改築しないため、区民集会所を改築するたたき台2・3と比べて、区民集会所の改築に係るコスト分が低くなります。ただし、将来的に区民集会所を改築する際に、別途、改築に係るコストがかかります。
- また、たたき台3は、保育園の仮設園舎が不要なため、保育園の仮設園舎を必要とするたたき台1・2と比べて、保育園の仮設園舎のリース費分が低くなります。



※現時点での想定イメージになります。

※図書館の休館期間中も蔵書等を保管する必要があることから、別途、倉庫の賃借料がかかる見込みです。たたき台3は、図書館の休館期間がたたき台1・2と比べて3年程度長くなるため、倉庫の賃借料が1千万円程度高くなる見込みです。

終わりに

最後まで資料をご覧ください、誠にありがとうございました。

右二次元コード (<https://logoform.jp/form/Y4gR/1537269>) からアンケートにご回答ください。

回答期限： 5月31日（日）

